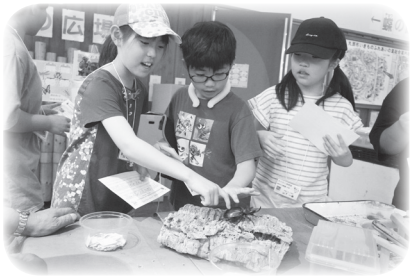
湧別町
生涯学習
情報

WAKU WAKU
湧く湧く

2025年
7月
No.186

少年は町の未来　夢に向かって力をつけよう　～少年教育推進目標～

わくわく体験塾　～「昆虫教室」～



わくわく体験塾は６月21日「昆虫教室」を実施しました。今年はわくわく体験塾の塾生が丸瀬布の昆虫生態館を訪問しました。「ＮＰＯ法人まるせっぷ昆虫同好会」の佐藤正美理事長はじめ会員の皆様による指導で、昆虫との触れ合い体験やゲームを楽しみました。

はじめに「昆虫ふれあいスタンプラリー」を実施。昆虫を探すだけではなく、昆虫にふれたり、毒蜘蛛のタランチュラや身近な水生生物なども探したりしました。その後、館内の自由見学として、昆虫同好会の皆さんが各昆虫や水生生物のコーナーに待機し、昆虫の生態や特徴について丁寧に説明してくださいました。「チョウの広場」ではオオゴマダラやオオイチモンジなどの珍しい蝶を見学したり、枝に擬態しているナナフシを探したりしました。

最後にゲンゴロウモドキのルーレットをしました。これはゲンゴロウモドキが壁伝いに移動していく性質を利用したものです。タライに放されると壁伝いに泳いで穴を見つけ、その穴を通って進んでいき、何番の部屋に進むかをみんなで予想しました。

虫が大好きな子どもたちも、苦手な子どもたちも楽しく昆虫体験をすることができました。

明日の元気は、きょうのスポーツから　みんなで体を動かし楽しもう　～スポーツ振興の推進目標～

第40回サロマ湖100ｋｍウルトラマラソンが開催されました

６月29日第40回サロマ湖100㎞ウルトラマラソンが盛大に開催され、100㎞の部3,343名、50㎞の部515名、総勢3,858名のランナーが参加しました。

当日は、朝から穏やかな風が吹き、スタート地点では、ランナーの笑顔や緊張が入り混じった高揚感のある雰囲気の中、一斉にスタートを切りました。沿道には家族や友人、地域の皆さんの拍手や力強い応援で賑わい、各給水所ではボランティアスタッフの皆さんが一丸となりランナーをサポートする姿や40㎞給水所付近では、湧別高校吹奏楽局による応援演奏が行われ、苦しそうな表情を見せるランナーにも笑顔が戻る場面もありました。

地域の温かさを感じる充実した大会となりました。

明日の元気は、きょうのスポーツからみんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

「わくわくゆうふぃっと。」 ～No.2～ 運動指導職員 三浦 茉畝（まほ）

＊６月の「ゆうふぃっと。」「ゆうふぃっと。プラス」はこんなことしました＊

1）「ゆうふぃっと。」～モルック体験～

モルックは、フィンランド発祥のスポーツで身体能力や体力を必要としない頭脳スポーツと言われています。その代わり、緻密な戦略と駆け引きが勝つために必要です。今回の教室では、デモンストレーションを行い、基本のルールを覚えていただきました。試合はトーナメントで行い、優勝チームを決めました。

2）「ゆうふぃっと。プラス」

～「０からのはじめてでも楽しく脂肪燃焼・引締め～40代からの身体作り」～

はじめてでも楽しく脂肪燃焼をテーマに西田トレーナー（株式会社ＰＨＹＳＩＴ）指導の下、ストレッチから丁寧に教えていただきました。特に、お尻まわりを中心にトレーニングを行い、１つ１つ正しい体の使い方を学びました。

○今後について

随時ホームページにて開催日等お知らせします。皆さんに「Ｆｉｔ」した運動・トレーニングをご紹介しますので、ぜひ、友達を誘ってお越しください。

ホームページ

「ゆうふぃっと。」では皆さんに合わせた運動・トレーニングを行っています。
怪我無く・楽しく・一緒に体を動かしましょう！！

高齢者は町の知恵袋　豊かな経験を地域で生かそう　～高齢者教育推進目標～

“博物館「網走監獄」”他チューリップ生きがい大学日帰り研修会

チューリップ生きがい大学では６月17日に日帰り研修会を実施しました。今年は43名の学生が網走市の博物館「網走監獄」やオホーツク流氷館等の見学に行ってきました。網走監獄では、正門前で集合写真を撮り、当時の看守の住宅、味噌・醤油の醸造工場や漬物庫などを見学、お昼ご飯は、当時の監獄の食堂を再現した部屋で囚人たちの人形といっしょに「監獄食」を食べました。献立は、麦飯、焼き魚(ホッケ)、みそ汁、フキの煮物、長芋でした。当時はもっと質素な食事だったと思われますが、これがなかなかに美味しかったです。食事の後は舎房や独居房なども見学。当時の過酷な労働や懲罰の様子が伝わってきました。

次は、オホーツク流氷館へ向かいました。流氷やオホーツク海の自然、生き物について学び、施設にある-15度を体験できる部屋では、みんなでタオルを振って凍らせてみました。展望台からは斜里岳から知床連山の山々、網走の街並みが一望でき、眺めながら、流氷ソフトを楽しむ学生の姿も見られました。

帰りに寄った道の駅「流氷街道網走」では、少し長めの休憩時間をとりました。ゆっくりショッピングをしたり、オーロラソフトを食べたりしながら仲間との交流を楽しみました。

リレーエッセイ

スポーツ推進委員さんのある一日　第175回

ある日の夕方、グラウンドには子ども達の元気な声が響きます。私は週に２回、陸上クラブ「湧別キッズ」のコーチとして、子ども達に陸上競技を教えています。主に長距離を専門としているため、走る姿勢や体の使い方など、細かい技術を伝えることもありますが、何より「走ることそのものを楽しんでもらうこと」を大切にしています。

私自身、コーチという立場ではありますが、子どもたちと一緒に走っていると、ひたむきに頑張る姿や全力で楽しむ姿に刺激をもらうことが多く、あらためて陸上の魅力を実感させられます。こうしてスポーツを通じて子どもたちと関われることに感謝しながら、自分自身も走ることを楽しみつつ、これからも一緒に成長していけたらと思っています。

今後も子どもたちと過ごす一つひとつの時間を大切にしながら、湧別町にスポーツの輪が広がっていくことを願い、スポーツ推進委員として、今日も私は走り続けます。

スポーツ推進委員　藤本　竜

○図書館だより○

【第189号】

－中湧別図書館・湧別図書館－

図書館は町民の憩いの場　みんなで学び楽しもう　～図書館活動推進目標～

宅配貸出サービスのお知らせ

現在図書館では来館が困難な方に「図書宅配貸出サービス」を行っています。図書館に行くことが難しい方を対象に、書籍を自宅までお届けするサービスです。対象となる方・サービスの内容は以下のとおりとなります。

①お届けする資料

貸出の対象となる資料は、図書館に所蔵している図書・雑誌・CDとなります。新聞やDVD等は対応できません。利用者の方のニーズに合わせて図書館職員が選本します。

②利用対象者

宅配サービスを利用できる方は湧別町民かつ、中湧別図書館・湧別図書館への来館が困難な以下のいずれかの条件に該当する方となります。

・満70歳以上で自動車運転免許証をお持ちでない方
・障がい者手帳等をお持ちの方
・介護認定を受けた方
・一時的に図書館に来館できない方（骨折など）

③交換頻度

1か月に1度職員がご自宅まで本をお届けします。

④申込み・お問い合わせ

中湧別図書館　担当：石垣　TEL：01586－2－3150

中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日　　時】 ８月２日（土）　13：30～14：00
【場　　所】 中湧別図書館　おはなしコーナー

８月の図書館休館日

８月４日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

＊図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10：00 ～18：00
【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。 **【貸出期間】** ２週間
【連 絡 先】 中湧別図書館　電話２－3150　　湧別図書館　電話５－3122
lib-n@town.yubetsu.lg.jp　　lib-y@town.yubetsu.lg.jp

この人をご存じですか

博物館シリーズ
―郷土の記録―

博物館だより
―ふるさと館JRY・郷土館―
【186号】

湧別町開基と「半澤真吉」

この写真の人は「半澤真吉（はんざわしんきち）」。明治15年（1882年）湧別に入植しました。湧別町はこの年を開基としています。湧別庁舎前に開基のプレートがあります。湧別の農業のはじまりとされています。

湧別庁舎前

開基のプレートを見たことはありますか？

半澤真吉と湧別

湧別町史には「明治15年（1882年）湧別５番地に入植。未開地3000坪の貸付を受けて、大麦・大麻を栽培。しかし、同年10月２日に紋別戸長に就任のため湧別を離れた。」とあります。わずか、８か月の滞在ですが、のちに根室県が産業振興のために発行した「勧業雑報」で湧別の土地の豊かさを紹介したのでした。以降の湧別の発展に大きな影響を与えた人です。しかしながら、湧別町には半澤真吉に関する実物の資料はありません。

半澤真吉の記録

半澤真吉さんの記録を調べてみると、湧別町史、上湧別町史、紋別市史、網走市史小清水町史、斜里町史等多く市町村に記録が残っています。というのは、彼は多くの功績を残しているからです。湧別最初の農作物試行（紋別地区）、紋別の戸長（２代目）、網走　総代人、小清水駅逓の最初の取扱人、斜里の発展に寄与、納税額高額となり選挙に参加などです。小清水町発行の「小清水町　開町100年物語」では、半澤真吉を「開拓ビジネスの成功者」と称しています。その言葉どおり、明治から大正期に、オホーツク管内で活躍していたのです。ただ同書では、「半澤で使われるよりナタで削られたほうがましだ」との記述もありました。仕事への情熱がゆえに、その下で働くのは大変だったようです。

明治17年発行
「勧業雑報」

略年表（西暦の横の数字は半澤真吉の年齢）

嘉永　４年（1851年）　0　宮城県吉田村に生まれる	明治 15年（1882年）31　10月紋別戸長に湧別を離れる
明治 11年（1878年）27　来道（函館）	明治 18年（1885年）34　網走に戻る
明治 12年（1879年）28　函館税関	明治 22年（1889年）38　小清水に入植
明治 13年（1880年）29　３月退職　根室で昆布採取	明治 24年（1891年）41　小清水駅逓　取扱人
明治 14年（1881年）30　網走郡役所	明治 27年（1894年）44　酒造業および商業を始める
明治 15年（1882年）31　２月同退職	明治 38年（1905年）54　駅逓取扱人をやめ斜里へ
明治 15年（1882年）31　湧別５番地に入植	昭和　４年（1929年）78　斜里にて死亡

半澤真吉を知る

郷土館には大きく鮮明な晩年の写真が展示されています。また、図書館には記録が掲載されている市町村史があります。

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」　2025年７月号　No.186

編集発行…湧別町教育委員会　社会教育課　〒099－6404　北海道紋別郡湧別町栄町219－１
https://www.town.yubetsu.lg.jp/
印　　刷…林印刷所（中湧別北町）　発　　行…令和７年７月25日
記事へのお問合せは下記へ
＊社会教育課社会教育グループ…電　話：01586－５－3132　ＦＡＸ：01586－５－3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp
＊湧別図書館……電　話：01586－５－3122　ＦＡＸ：01586－５－3256
＊中湧別図書館……電　話：01586－２－3150　ＦＡＸ：01586－２－3190
＊ふるさと館ＪＲＹ……電　話：01586－２－3000　ＦＡＸ：01586－２－3200